

令和3年度長門市立俵山小学校学力向上プラン全体計画

1 学力向上プランの作成に関する基本的な考え方

本校の学力向上プラン作成のために、本市の「つながる学びを創る9年間のカリキュラム」の次の3段階のつながりを基本にする。

- ◎ 基礎的・基本的な学力の育成（繰り返しと定着）…前期（第1～4学年）
- ◎ 活用できる確かな学力の育成…中期（第5～7学年）
- 探求する学力の育成…後期（第8～9学年）

この3段階のつながりから、

- ◎ 基礎的・基本的な学力の育成 ⇒ ☆ 知識や技能（基礎的・基本的事項）
- ◎ 活用できる確かな学力の育成 ⇒ ☆ 読解力・思考力・判断力・コミュニケーション能力
- 探求する学力の育成 ⇒ ☆ 自ら学び続ける意欲や態度

以上のことを、本校の児童に確実につけていきたい。そのために、「全国学力・学習状況調査」や「学力定着状況問題」の結果と、そこに、担任の日頃からの学習に関する評価等を合わせて、本校における学力面の課題を分析し、学力向上プランを作成する。

この学力向上プランを実行に移していくために、校内研修会等で以下の基本的な教師の立場からの視点も共通理解をしていきたい。

（1） きめ細やかな授業の実践に努める。

- ・ 本時の明確な目標の設定をする。
- ・ 発問の精選をする。
- ・ わかりやすい板書の工夫をする。
- ・ 共学びの場の設定をする。
- ・ 個々の力に合わせた指導をする。
- ・ 学習の振り返りを行い、自分の学びに気付かせる。
- ・ 授業評価を行い、次時の指導への展開を行う。

（2） 学習規律の徹底に努める。

- ・ 始業・終業時間の徹底をする。
- ・ 前時間終了後に次時の学習の準備をさせる。
- ・ 発表の仕方、声の大きさなどその場にあった話の仕方をさせる。
- ・ 話の聞き方、姿勢などにも気を付けさせる。
- ・ ノート指導の重点化を図る。

（3） 読書活動の充実を図る。

- ・ 朝読書の推進により、心地よい一日の学校生活スタートを意識させる。
- ・ 教科書の全員音読を実施する。
- ・ 個々にあった本の紹介をする。
- ・ 読書カードなどを使った読書への取組の意欲化を図る。（学期1回の読書週間の実施）
- ・ たくさんの本、いろいろなジャンルの本に出合わせる。
- ・ 学年に応じた読書量の設定をして取り組ませる。（1・2年5000ページ、3・4年8000ページ、5・6年ページ10000ページ）

(4) 個に応じた対応を図る。

- ・ 個々の力に合わせたプリント学習を仕組む。
- ・ 学力テストなどを分析し、弱点項目の克服をさせる。
- ・ 既習の学習内容の定着を図る。
- ・ やまぐち学習支援プログラム・やまぐちっ子学習プリントプラスの活用を図る。

2 具体的な取組のための視点

(1) 授業改善（教師の指導法の改善）のための授業評価の実施と活用

- 4教科については、各単元終了時にまとめ・ふりかえりを行う。
 - ・ 授業分析に活用
 - ・ 結果の共有化

- 1人1研究授業の実施

(2) 「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」の育成

- 授業での取組
 - ・ 書く活動を1単位時間に取り入れる（自分の考えの裏付け、理由付け）
- 授業以外の時間を利用する取組
 - ・ 特色のある取組の共有 … 朝読書までの時間 例：高学年による1年生への読み聞かせ
みすゞさんの詩の意見交換
- 学習の規律の徹底

(3) 家庭学習の共通理解と取組…学びのルールとして家庭配布（別紙参照）

- 共通理解 … 内容、量、実施率、習慣化していない子どもへの指導等
- 家庭学習についての全校的な取組
 - ・ 時間の確保 … 「10分×学年+10分」
 - ・ 自主学習の実施
 - ・ 家庭学習の内容 … 予習・復習・発展・読書
 - ・ 家庭への情報提供と協力依頼（学級だより等）

(4) 基礎学力の定着

- スキル学習の実施
 - ・ 朝学の時間を利用して、国語・算数のスキル学習を行う。
 - ・ 実施の際には、複数教員で指導に当たる。
- 放課後個別学習
 - ・ 月曜日の放課後 … 15:40～16:00（20分間）を目安に
 - ・ 個別に支援する必要がある児童について、担任が保護者に理解を得る。
- スパイラル学習 … ミニテストを繰り返し、何度も実施する。
- サマースクールの実施(国語・算数を中心に)

(5) 児童の実態把握と身に付けるべき力の共通理解・共通取組事項の確認

- 全教職員による学力学習状況調査の分析
- 今後取り組むべき事項の共通理解